

I N F O R M A T I O N

■ 附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

<附属博物館>

・『京都嵯峨芸術大学の先人達 林 司馬展 ～写す～ 新収蔵の写生帖を中心に』 月休
6月17日(火)～8月3日(日) 10:00～17:00

林 司馬(はやし・しめ)は、本学開学2年目(1972年)より十数年間にわたり、日本画にて模写指導に尽力され、現在の日本画古画における礎を築かれました。本展覧会では、新しく平等院屏絵模写の下絵や、本年2月にご遺族より寄贈いただいた写生帖等、未発表作品を中心に展示いたします。司馬の繊細な作風より真摯な制作姿勢を感じていただければ幸いです。

<附属ギャラリー>

・『京都嵯峨芸術大学短期大学部 専攻科 日本画展』
6月10日(火)～6月15日(日) 10:00～18:00

・『Thinking print vol.3 ー表現としてのドローイングの可能性』
6月25日(水)～7月7日(月) 12:00～18:00

○お問合わせは博物館・ギャラリー課まで
TEL.075-864-7898 FAX.075-882-7770 museum@kyoto-saga.ac.jp

■ 本学関係者による展覧会情報

- ・入佐美南子／油画
『京都アートフェア2008』 7月3日(木)～7月6日(日) みやこめっせ(京都)
『二科展』 9月3日(水)～9月15日(月) 国立新美術館
- ・加藤明子／油画
『個展』 10月21日(火)～10月26日(日) ギャラリーマロニエ(京都)
- ・イチハラヒロコ・箭内新一／油画
『ブリッジ14』 6月20日(金)～6月28日(土) ケルン／ドイツ
- ・中野庸二／油画
『中野庸二展』 6月24日(火)～7月20日(日) ギャラリーなかむら(京都)
- ・長谷川一郎／油画
『長谷川一郎・岩田朋子 二人展(仮称)』 9月23日(火)～10月5日(日) ギャラリーはねうさぎ(京都)
『LA VOZ 2008』 10月21日(火)～10月26日(日) 京都市美術館別館(京都)
- ・高田由紀子／油画
『文化書道展』 7月19日(土)～7月20日(日) 尼崎総合文化センター(兵庫)
- ・西野陽一／日本画
『平成の表装展』 9月より全国の高島屋美術画廊を巡回
- ・島田理恵／日本画
『菅橋彦大賞展』 9月6日(土)～10月5日(日) 倉吉博物館(鳥取)
- ・箱崎睦昌／日本画
『第7回全国硬筆画大展』 10月19日(日)～10月29日(水) 北京／中国
- ・古水絹代／染織
『古水絹代展』 6月15日(日)まで開催中 ギャラリーマロニエ(京都)
『日本新工芸展』 7月8日(火)～7月13日(日) 京都市美術館(京都)
- ・兼先恵子／染織
『日本新工芸展』 7月8日(火)～7月13日(日) 京都市美術館(京都)
『個展』 7月15日(火)～7月27日(日) ギャラリー猫亀屋(大阪)
- ・斉藤高志／染織
『「音を視る・色を聴く」美術と音楽のコラボレーション展』 10月28日(火)～11月9日(日) アートライフみつはし(京都)
- ・日野田崇／陶芸
『楽園』 8月24日(日)まで開催中 北京快樂公社／中国
『Masters of Disguise』 7月20日(日)まで開催中 Mint Museum of Craft+Design／アメリカ
『True Grit:Frames,Fixations&Flirtations』 9月5日(金)～11月1日(土) Mc Coll Center for Visual Art／アメリカ
『Asia Top Gallery Hotel Art Fair』 8月29日(金)～8月31日(日) ホテルニューオータニ東京(25.26.27階)(東京)
- ・池田八栄子／陶芸
『個展』 9月23日(火)～9月28日(日) ギャラリー集(京都)
『京都嵯峨芸術大学卒業生展ーはなのかたちー』 10月7日(火)～10月21日(火) ギャラリーマロニエ(京都)
- ・田上真也／陶芸
『さのわ展』 7月15日(火)～7月21日(月) 桃林堂ギャラリー(東京)
『KANSAI 3CERAMICS』 8月8日(金)～8月24日(日) ギャラリー数寄(愛知)
『田上真也個展』 9月3日(水)～9月9日(火) 京都大丸アートサロン(京都)
『京都嵯峨芸術大学卒業生展ーはなのかたちー』 10月7日(火)～10月21日(火) ギャラリーマロニエ(京都)

■ 京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

「KSUA ART PROJECT」展開中!

京都嵯峨芸術大学公式サイトにて
最新の大学情報をご覧くださいませ。
<PC> <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

こちらのQRコードを使って、
携帯サイトにアクセスする
ことも出来ます。



■ 大学行事予定

連続公開講座 「京の美意識」スケジュール

京都の独特の知恵や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加無料)。

○第35回 6月28日(土)
「京の伝統工芸ー手仕事のこだわりー」
若林卯兵衛<(株)若林佛具製作所代表取締役会長>

○第36回 10月25日(土)「上絵師として」
菊井伯幸<上絵師>

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて
詳細は文化事業部まで。TEL.075-864-7898

「京の美意識」体験講座

○「手作り和菓子でお茶のひとつきを」
大原にある茶室で和菓子作りを体験します。
日時:6月22日(日) 12:00～17:00
定員:20名
講師:太田達(「老松」代表取締役社長)
場所:茶室「無心庵」(京都 大原)
参加費:5,000円(抹茶・和菓子・バス代込)
※「無心庵」へは本学より送迎します。

○「踊って仕草の魅力を探ろう」
ゆかたの着付けと簡単な踊りの所作を体験します。
日時:7月5日(土) 14:10～17:10
定員:20名
講師:藤間勘吾(舞踊家)
場所:本学又は藤間氏宅
参加費:3,000円

※お申込み・お問合せは文化事業部まで。
TEL.075-864-7898

あらし山びこスケジュール

本学図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」設置を機会とし、近隣の小学生や児童を対象に開催するイベント「あらし山びこ」。毎回テーマを決めて、そのテーマにまつわる絵本の読み語りや、お話などを地域の方と交流しながら展開します。

○6月14日(土) テーマ「夏越の祓え」

○7月12日(土) テーマ「七夕」

時間:13時30分～
場所:京都嵯峨芸術大学附属図書館
児童書コーナー

京都嵯峨芸術大学広報

第 25 号

2008年6月13日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 総務課 広報室
発行●学校法人大覚寺学園京都嵯峨芸術大学

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7859
FAX.075-881-7133
info@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.25

JUNE 2008

Contribution

ジョー・プライス客員教授 特別公開講座 「若冲画研究ーその色彩の謎に迫る」

京都嵯峨芸術大学芸術学部教授 佐々木正子



News

理事会報告 2007年(平成19年)度 収支決算報告／2008年(平成20年)度 予算編成基本方針・資金収支予算書

大学報告 2007年度進路概況／入学宣誓式報告／学園創立40周年記念事業報告／オープンキャンパス情報／入試説明会シーズン到来／発行・リニューアル報告



Topics

教員・在学生の活躍

本学短大専攻科学生の作品がテレビ番組に登場!／「GEISAIミュージアム2」にて本学学生が2位を受賞!／第4回車座シンポ報告／「あらし山びこ」報告／江村耕市准教授が課外授業「コンナンどうでしょ」を開催!

博物館・ギャラリー報告



Information

附属博物館／附属ギャラリー
展覧会スケジュール
教員展覧会情報
連続公開講座「京の美意識」
あらし山びこ情報
公式サイトのご案内



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

●ジョー・プライス客員教授 特別公開講座 「若冲画研究—その色彩の謎に迫る」

レポート:佐々木正子(芸術学部教授)



2008年4月19日(土)、有響館G401教室で本学大学院芸術研究科客員教授であるジョー・プライス先生の講演が行われました。江戸絵画の世界的コレクターであり、長年独自の視点から研究を続けてこられたプライス教授は、日本の研究者に先駆けて、いつも様々な発見をされます。作品の持つ力を見抜き、新しい発見を常に続けてこられた背景には一体どのような研究方法が存在しているのでしょうか。我々のそうした問いに対し、まず日頃どのように絵画を見てきたかについて語っていただきました。また、江戸時代の絵師、伊藤若冲の作品『鳥獣花木図』屏風に使用されている、見る方向により色が変わる新発見の技法についても初めての発表をして頂きました。

プライス教授はまず初めに古い時代の日本絵画の展示方法について言及されました。作品は今日の展示会の会場のように他と競う形では展示されておらず、強い自己主張は必ずしも必要ではありませんでした。床の間の軸のように、それらの作品が

置かれている空間はその作品のためだけに存在していたため、当時の作品はかなり控えめな表現などもあったわけです。そうした日本絵画に対しては鑑賞者側が心を向けることが大切で、神経を集中した視線を送れば、作品表現の微妙な差異にも気付くことができたと述べられました。

その中でも特に注目しておられたのは、江戸時代の絵師の持つ「技術力」で、ガラスケース越しではない、実物を間近に見られるというコレクターならではの研究の強みに裏打ちされた指摘が続きました。

コレクションの中の、例えば鈴木其一の描いた『貝図』では、貝殻の曲面に沿って縦縞の線を何本も引いていますが、筆継ぎ跡やブレなど、一本の失敗ありません。其一是下描きなどを用いずに、一気に細いところから太いところまでを筆を継がずに描いており、同時にその線は貝の立体性も見事に描ききっています。プライス教授は、このように江戸絵画の表現には、一見何気なく見えるものにも、絵師の神経が注がれた卓越した筆遣い、技術の裏打ちがあることを鋭く指摘されました。

日本絵画は無駄なものを削ぎ落としていく形式を取る事がありますが、略筆、減筆で描かれた作品にもその美が余すところなく描かれているのは、絵画構成の斬新さと共に、それを支える細やかな神経が注がれた技術力があるのです。ガラスケース越



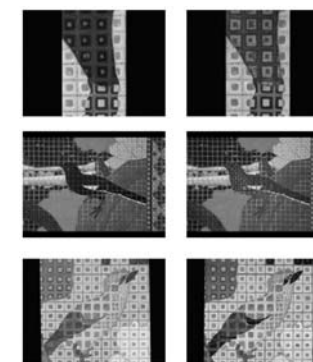
しに作品を見る我々は細部までが見えないため、とかく大づかみな構成などしか気づくことができませんが、よく見るとそこには卓越した絵師の技術が存在しているのです。間近で作品を見ることのできるプライス教授であるからこそ発見できる様々な技法は、江戸絵画の豊かさを改めて考えさせるものでした。

またプライス教授は光の問題の重要性についても指摘されました。若冲の描いた作品の中に『月夜の万福寺』という作品がありますが、美術館の人工光の下で見ると描かれた当時より光が強いため墨色が明るくなり、昼の景色に見えてしまいます。自然光で見て初めて建物は暗く、余白の地面は月の光に照らされて輝いていることを知ることができるのです。プライス教授はこのように、現代とは異なる状況にあった当時を知ることで、正しい作品鑑賞ができることにも触れられました。我々は現代の光に慣らされていて、何も疑わなくなっていますが、例えば若冲が花鳥図を描いた頃、現代のような強い人工光はなかったので、若冲はそのような光の下で自らの作品が鑑賞されるとは全く想定していなかったわけです。華やかで、どぎついほどの色感と見える作品も、当時と同じろうそくの光や縁側から入る自然光で見ると全く違ったものになります。

今回の講演で特に注目されたものは、

若冲作品の中でも珍しい柵目描きといわれる技法による屏風の一部分が、見る方向によって色を変える現象です。花や鳥、動物の描かれた『鳥獣花木図』屏風の中に描かれている一部の鳥や動物が、見る方向によって全く違う色に変わりますが、それは計算された変化であって偶然に生じているものではありません。例えば鳥の表現では右横から光を当てると、見ている人が右にいる時には真っ黒に見え、左に歩いていくと白っぽい灰色に見えるのです。展示会場のフラットな人工光ではこの変化は見えません。自然光で、しかも江戸時代の障子を通して入ってくる光と同じように横から光が入ってくることによって変化するので、こうした特異な仕掛けを若冲は考えていたことをプライス教授が発見されたのです。

まだこの効果が絵具そのものによるものか、技法によるものか解明されていません。これから様々な分野の専門家に解析を進めてもらう必要がありますが、NHKのニュースなどでもこの発表は大きく取り上げられました。6月23日(月)～9月13日(土)まで、アメリカの西海岸にあるロサンゼルス・カウンティ・ミュージアムで開催される『プライスコレクション展』では、この変化が見られる展示方法が初めて取られることになっています。プライス教授の斬新な研究によって、江戸絵画は益々面白くなっていきそうです。



特別講座にて紹介された「光線による色の変化」

画像提供:ジョー・プライス客員教授

理事会報告

2007年（平成19年）度 収支決算報告

2007年度の決算は下記「別表1.消費収支計算書」と「別表2.資金収支計算書」のとおりとなっています。いずれも科目は大科目で表示しており、それぞれの計算書を企業会計に置き換えると消費収支計算書は損益計算書、資金収支計算書はキャッシュフロー計算書に該当します。

2007年度収支決算の概要は消費収支計算書を中心に説明し、資金収支計算書で補足説明します。

〔消費収支計算書〕

○消費収入の部

・学生生徒等納付金は、決算額16億2千34万円。予算と比較すると133万円増額しました。
・手数料は、決算額2千339万円。入学検定料が主なもので他に華道免許等申請手数料があり、予算と比較すると112万円減少しました。
・寄付金は、決算額878万円。資金収支計算書の寄付金収入の数値と差異が生じていますが、これは資金収支計算書では現物寄付金は、寄付金収入として計上できないからです。
・補助金は、決算額1億7千980万円。国と地方公共団体からの補助金で、予算と比べ1千118万円増額しました。これは、国庫補助金の見込み額との差異が大きな要因で増額しました。

※「別表1」 ＜消費収支計算書＞
2007年4月1日～2008年3月31日 （単位 千円）

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,619,018	1,620,348	△ 1,330
手数料	24,512	23,390	1,122
寄付金	6,100	8,783	△ 2,683
補助金	168,616	179,802	△ 11,186
資産運用収入	2,833	3,993	△ 1,160
事業収入	14,970	19,026	△ 4,056
雑収入	124,199	124,802	△ 603
帰属収入合計	1,960,248	1,980,144	△ 19,896
基本金組入額合計	△ 92,747	△ 81,861	△ 10,886
消費収入の部合計	1,867,501	1,898,283	△ 30,782
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,273,268	1,270,732	2,536
教育研究経費	543,755	530,032	13,723
管理経費	172,303	169,232	3,071
借入金等利息	9,404	9,404	0
資産処分差額	3,180	3,179	1
徴収不能引当金繰入額	5,461	5,673	△ 212
徴収不能額	4,050	0	4,050
予備費	(5,273)		
	14,727		14,727
消費支出の部合計	2,026,148	1,988,252	37,896
当年度消費支出超過額	158,647	89,969	
前年度繰越消費支出超過額	2,697,353	2,697,353	
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越消費支出超過額	2,856,000	2,787,322	

※差異の欄の△は増額を示す。

・資産運用収入は、決算額399万円。この項目は定期預金の金利、及び施設設備利用料の収入です。

・事業収入は、決算額1千902万円。受託事業、公開講座の収入で予算と比べ405万円の増額。

・雑収入は、決算額1億2千480万円。この項目は教職員退職者に係る退職金財団からの交付金が主なもので、予算と比べ60万円増加しました。

2007年度の帰属収入は、19億8千14万円で、8千186万円の基本金組入れをした結果、消費収入の部の決算額は18億9千828万円となりました。予算と比べると3千78万円増加しました。

○消費支出の部

・人件費は、決算額12億7千73万円で、資金収支計算書の人件費支出との差異は、消費収支計算書では退職金財団から交付される交付金を退職金として計上していることから生じています。
・教育研究経費は、決算額5億3千3万円。学生や教員の研究活動に要した経費です。
・管理経費は、決算額1億6千923万円。学校の管理運営や学生募集などに要した経費で

※「別表2」 ＜資金収支計算書＞
2007年4月1日～2008年3月31日 （単位 千円）

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,619,018	1,620,348	1,330
手数料収入	24,512	23,390	1,122
寄付金収入	5,100	4,750	350
補助金収入	168,616	179,802	△ 11,186
資産運用収入	2,833	3,993	△ 1,160
事業収入	14,970	19,026	△ 4,056
雑収入	124,199	124,802	△ 603
前受金収入	618,875	663,037	△ 44,162
その他の収入	52,697	55,478	△ 2,781
資金収入調整勘定	△ 817,515	△ 822,384	4,869
前年度繰越支払資金	1,788,218	1,788,218	
収入の部合計	3,601,523	3,660,460	△ 58,937
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,284,350	1,281,813	2,537
教育研究経費支出	336,035	322,886	13,149
管理経費支出	162,632	159,561	3,071
借入金等利息支出	9,404	9,404	0
借入金等返済支出	56,044	56,044	0
施設関係支出	5,382	5,381	1
設備関係支出	35,342	35,110	232
その他の支出	50,640	49,266	1,374
予備費	(4,701)		
	15,299		15,299
資金支出調整勘定	△ 40,950	△ 38,851	△ 2,099
次年度繰越支払資金	1,687,345	1,779,846	△ 92,501
支出の部合計	3,601,523	3,660,460	△ 58,937

※差異の欄の△は増額を示す。

す。なお、資金収支計算書では、教育研究経費支出及び管理経費支出には、減価償却額を算入していないので、両科目で差異が生じています。

・借入金等利息は、決算額940万円で、市中金融機関からの借入金の支払利息です。

・資産処分差額は、決算額317万円で、おもに建物の改装による取り壊しと教育機器備品の処分した減少額です。

・他に徴収不能引当金繰入額、徴収不能額が消費支出の科目にあります。これらの項目は、学費の滞納等で学費納付規程により、教授会で除籍の決定がなされた学生や年度内に学費が納まらない等の内容です。

消費支出の部の決算額は、19億8千825万円で、予算に比べ3千789万円減少しました。帰属収入から消費支出を差し引いた額である帰属収支差額は、学校法人の財政の健全性を示すもので、2007年度決算の差額は、マイナス810万円でした。

〔資金収支計算書〕

・収入の部の前受金収入は、決算額6億6千303万円でした。この項目は、翌年度の学生生徒等の授業料などで、予算と比べ4千416万円増額しました。

・その他の収入は、決算額5千547万円。予算と同額。この項目は、前年度の退職金財団からの交付金等を計上しています。

・支出の部の借入金等返済支出は、決算額5千604万円。予算と同額であり、前年度に日本私立学校振興・共済事業団への借入金繰上返済を行ったため、前年度に比べ3億8千48万円減少し、健全な数字となっています。
・施設関係支出は、決算額538万円。メディアデザイン学科実習室の第二期改修工事が主な内容です。

・設備関係支出は、決算額3千511万円。各部門のコンピュータや動力工具、機器等の購入費に要した経費でメディアデザイン学科2回生室の什器等も購入しました。

・その他の支出は、決算額4千926万円。この項目は、前年度に購入した物の購入費を今年度に支払ったため、前期末未払金支払支出として計上しています。他に立替金、仮払金、仮受金があります。

理事会報告

2008年（平成20年）度 予算編成基本方針・資金収支予算書

【平成20年度予算編成基本方針】

1. 学園創立40周年記念事業の取り組み
2. 新たな教育内容、教育体制についての研究活動
3. 学生募集活動の強化、効果的な広報活動の展開
4. 地域連携、社会貢献、文化諸事業のさらなる展開
5. 教職員の能力・意欲を助長し評価する制度の導入

【平成20年度資金収支予算書】（単位 円）

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
学生生徒等納付金収入	1,583,510,000	人件費支出	1,179,471,000
手数料収入	23,558,000	教育研究経費支出	322,957,000
寄付金収入	5,000,000	管理経費支出	166,554,000
補助金収入	170,649,000	借入金等利息支出	7,939,000
資産運用収入	4,415,000	借入金等返済支出	46,656,000
事業収入	13,785,000	施設関係支出	10,000,000
雑収入	109,424,000	設備関係支出	29,087,000
借入金等収入	0	その他の支出	44,938,000
前受金収入	609,475,000	〔予備費〕	20,000,000
その他の収入	135,457,000		
資金収入調整勘定	△747,749,000	資金支出調整勘定	△45,329,000
前年度繰越支払資金	1,687,345,152	次年度繰越支払資金	1,812,596,152
収入の部合計	3,594,869,152	支出の部合計	3,594,869,152

大学報告

2007年度進路概況

社会の動向は、採用に意欲的な企業が増えているとの見方もありますが、特に芸術系大学生はクリエイティブ系職種のこだわりからか、例年通り厳しいのが現状です。本学としても採用試験の多様化などにより2008年度は、各種基礎データの見直し、ガイダンスの充実、個別指導の強化の3本柱を主眼において、自己の進路への意識を高められるよう今後も学生個人カルテによる状況把握、キャリアアドバイザーによる徹底した個別相談の充実や効率よいデータの整備、最新データの速やかな情報提供など個々に応じたきめ細かな指導を徹底していきます。なお右記データの就職しないについては、キャリア支援課からの最終調査書に未記入、アルバイトをしているのか、現在就活しているのかなど確認できない学生を含んでいるからです。また就職希望者が少ないのは絵を描く時間を確保するため、アルバイト（希望職種に直結するアルバイトや創作時間を確保するための不規則でないアルバイト）などにつくケースが見受けられます。Uターン希望者の場合は、帰省してから探す学生も多く見られ、分野

の特質から学生が希望する職種のある企業数が極端に少なく、皆無に等しい職もあります。本学では多様な進路に対応するため、今まで以上に個別指導を強化します。

芸術学部		人数(人)	比率
進路内訳	2007年度 卒業 者 数	127	9%
	就職決定者数	66	52.0
	就職未定(活動を継続する意志のある者)	9	7.1
	進学(大学院・四大編入学・研究機関等)	2	1.6
	本学大学院	6	4.7
	専門学校	5	3.9
	各種受験準備(公務員・教員・資格等)	5	3.9
	アルバイト	8	6.3
	家事手伝	1	0.8
	制作活動または弟子入り	6	4.7
進路内訳	就職しない(「就職見込みありを含む」)	17	13.4
	海外留学	2	1.6
	不明(最終「進路調査書」の提出なし)	0	0.0

短期大学部		人数(人)	比率
進路内訳	2007年度 卒業 者 数	245	9%
	就職決定者数	91	37.1
	就職未定(活動を継続する意志のある者)	20	8.2
	進学(四大編入学・大学院・研究機関等)	11	4.5
	本学専攻科	36	14.7
	専門学校	6	2.4
	各種受験準備(公務員・教員・資格等)	2	0.8
	アルバイト	24	9.8
	家事手伝	0	0.0
	制作活動または弟子入り	16	6.5
進路内訳	本学研究生(専攻科のみ対象)	0	0.0
	就職しない(「就職見込みありを含む」)	37	15.1
	海外留学	2	0.8
	不明(最終「進路調査書」の提出なし)	0	0.0

※進路内訳数（人）÷卒業生数＝比率（％）

入学宣誓式報告

2008(平成20)年度京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学部の入学宣誓式を2008年4月1日に本学講堂において執り行いました。本年度入学生は以下の通りです。

○京都嵯峨芸術大学
大学院 芸術研究科 8名
芸術学部 造形学科 76名
メディアデザイン学科 51名
観光デザイン学科 30名
小 計 157名

○京都嵯峨芸術大学短期大学部
専攻科 36名
美術学科 162名
合 計 363名

学園創立40周年記念事業報告

2010年度に迎える学園創立40周年を記念し、理事会では学園の施設整備計画、記念誌編纂、寄付募集事業について検討を進めてきました。記念事業の中核となるキャンパス整備について、建設委員会を設置、教職員へのアンケートを通した課題の把握、財政計画の立案、さらにコンサルタント会社の協力の下、施設の現状基礎調査を行いました。また、老朽校舎の耐震診断について専門業者へ提案を依頼しました。検討の結果、空調設備等の設備面での課題が新たに浮上し、全般的な計画の見直しが必要となってきました。新たな課題に対応するため、建設委員会を3月末で解散、今年度より、新たに「キャンパス整備計画委員会」として再出発することになりました。

オープンキャンパス情報

2008年のオープンキャンパスは、6月22日(日)をはじまりに、8月1、2、3日(金・土・日)、9月23日(祝)の計5回開催します。毎年、オープンキャンパスの来場者が受験する率は高く、受験生との重要な接触の機会として、今年もたくさんの来場を図っていきます。



昨年のオープンキャンパス風景

入試説明会シーズン到来

今年も大学入試説明会が各地で活発に開催されるシーズンになりました。ここ数年18歳人口の減少に比例して来場者数は減少していますが、逆に保護者の来場数は増加しています。これに対応するため、掲示物の明確化を図り、入学から在学、さらには就職まで広範囲な質問に対応できるようにしています。説明会や高校訪問をあわせ、全国で年間100を超える入試説明会・進学相談会を展開します。



大学説明会場風景

発行・リニューアル報告



2009年度用 京都嵯峨芸術大学 大学案内表紙

2009年度用の本学大学案内が完成・発行いたしました。本学を特徴付ける風光明媚で歴史的な場所、「京都・嵐山でアートを学ぶ」というイメージと、「アトリエの現場感」を意識した写真構成で、これまでの大学案内のイメージを刷新いたしました。



本学ホームページ画面
http://www.kyoto-saga.ac.jp

また大学案内の発行にあわせて本学ホームページ(トップページ)もリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、大学案内の特集内容に関連した情報を、web上でも掲載するという情報リンクの仕掛けがなされています。今後も掲載情報の充実を目指しますのでぜひチェックしてください。

TOPICS

教員・在学生の活躍

本学短大専攻科学生の作品がテレビ番組に登場！

本学短期大学部専攻科2回生の松井彩香さんの作品が、KBS京都テレビの新番組「京bizW」のスタジオセットとして登場しました。同番組は「旬」と「出会い」をテーマに構成された4月から始まった生放送の報道情報番組。松井さんの作品は和紙とワイヤーで構成した大型タペストリーのような作風で、数週間かけて全て手作業で制作した大作です。昨年度の京都市美術館での進級制作展で彼女の作品がKBS京都の番組担当者の目に留まり、番組出品へとつながりました。松井さんの作品は期間限定で今後この番組に登場する予定です。ぜひご覧ください。

KBS京都テレビ 報道情報番組「京bizW」
放送日:毎週金曜日21時25分～22時25分

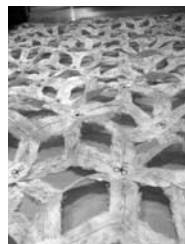
作品展示リハーサルの模様をレポート！



作品はとっても繊細→



これで展示が完成！→
ぜひ放送でご確認を



← 緊張しながら松井さんが
KBS京都に到着しました



← 慎重に作品を広げて…

「GEISAIミュージアム2」にて
本学学生が2位を受賞！

5月11日(日)、東京ビックサイトにて開催された「GEISAIミュージアム2」にて、本学大学院1回生の大源麻友さんが見事2位を受賞しました。この「GEISAIミュージアム2」は世界的アーティストの村上隆が率いる(有)カイカイキキが主催する大イベントで、今回の「GEISAIミュージアム2」には約600名が参加。アート業界を代表する5名の有名審査員より1位～3位までの3名と審査員個人賞5名の、計8名が受賞されました。

第4回車座シンポ報告

京都嵯峨芸術大学現代芸術研究会による公開研究プログラムとして、講演者と視聴者が双方向でやり取りができるよう周囲を“車座”状に取り囲む「車座シンポ」が開催されました。今回で4回目を数える本シンポジウムでは、京都大学・大学院人間・環境学研究科との共同開催で、5/9(金)会場:京都大学、5/10(土)会場:京都嵯峨芸術大学にて実施されました。ニューヨーク在住の写真家・森本洋充氏を招き、写真という芸術メディアが持っている「目に見えないものを写す」という力について、そしてそれ故に写真に写り込むことがある「人の中の人の外」という要素につい

て、車座シンポならではのディスカッションを行いました。当日は森本氏に実物の作品を数点持参していただき、参加者が実際に作品に触れることで森本氏との距離を縮められ、有意義な時間を共有することができました。

「あらし山びこ」報告

5月10日(土)の「あらし山びこ」のテーマは「端午の節句」。開場にはこいのぼりや兜を飾り、しょうぶも用意しました。絵本の読み語りでは、学生二人が前に出て絵本を読み、伝承遊びでは「せいくらべ」の歌を歌った後、新聞紙で兜を折ったのですが、子供達はあえて難しい折り方に挑戦。楽しいひと時となりました。またこの日は「みやびじょん」のテレビカメラが入り撮影が行われました。内容はみやびじょんワイドで、5月17日(土)～24日(土)まで放映されました。

博物館・ギャラリー報告

博物館・ギャラリー企画展報告

フランス人BD作家ニコラ・ド・クレシー氏が、京都に滞在した3ヶ月の間に描いたスケッチやドローイングを中心に70点余りを展示。学外からも多数の方がお越

し下さいました。原画に加え、会場に置かれたニコラ氏とBD作家の本にも、熱心に見入る学生の姿が多々見受けられました。19日(土)にはニコラ氏を迎え、レセプションパーティーが開かれました。関係者の方々をはじめ、学長、学内の諸先生方のご参加に加え、本学卒業生・河合リツ子氏(漫画家)もかけつけられ、和やかなレセプションとなりました。また後日ニコラ氏より、本学に新作ドローイング1点の寄贈がありましたことをご報告いたします。

●『ニコラ・ド・クレシー展覧会』
会期 4/16～4/25
会場 附属ギャラリー

<その他、展覧会報告>

●『浅見素石 郷土玩具と版書展』
会期 4/1～5/31
会場 附属博物館

●『卒業・修了制作展優秀作品収蔵品展』
会期 5/7～5/22
会場 附属ギャラリー

●『Crafted Form 京都嵯峨芸術大学造形学科工芸分野教員作品展』
会期 5/26～6/1
会場 附属ギャラリー

●『京都嵯峨芸術大学短期大学部美術分野ミクストメディア2回生 Re: -現代に連れてきました。-』
会期 6/3～6/8
会場 附属ギャラリー

江村耕市准教授が
課外授業「コンナンどうでしょ」を開催！

4月25日(金)の午後5時過ぎから、本学第6演習室にて「コンナンどうでしょ」と題した学内イベントがメディアデザイン学科の江村耕市准教授の企画で実施されました。今回はこのイベントに関するお話を江村先生に伺いました。

多彩なキャラクターのマネキン人形が繰り広げるシュールな短編物語で人気の映像コンテンツ『オー!マイキー』(『OH! Mikey』)は、10～30代の女性を中心に大人気の作品で、テレビ東京系列で放送後、現在もDVDなどで観ることができます。江村先生はこの『オー!マイキー』のグラフィックデザインを手掛けられており、『オー!マイキー』のDVDを観ながら、現場の視点から様々な話を展開しよう…というイベント内容でした。DVDを上映しながら、『オー!マイキー』がベルリン映画祭に出品された話をはじめ、製作現場の裏話などなど…ファン垂涎の話をたくさん聞くことができ、大変貴重な時間となったようです。授業形式ではなく、気軽に誰でも参加できるイベントとして江村先生が企画されたこのイベントには100名余りの学生が参加して大好評。なんと30話あまりを2時間半はほぼノンストップで連続上映したというから驚きです。

江村先生いわく、「普段の授業でフォローできないことや漏れていることをすくい上げられるような場所を作りたいと思ったんです。仕事の現場で何気なしにポロツと言った言葉が学びに活かされたりすると思うんですね。だからそんなことが起こりそうな場を提供したいな…というのが当初のねらいです」。学生の反響は上々。今後も不定期ながら続けて行くこの企画。「“コンナンどうでしょ”っていう気持ちで次回の企画も考えます。近いうちにまた、お会いしましょう」とのこと。嵯峨芸の新伝説になるか、ご注目ください。